

## 2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	組織論特別研究		
担当教員名	丁 圏鎮		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
			○
科目のテーマ	1. 組織構造の設計：効果的機能の仕組み 2. 組織的知識創造：ナレッジマネジメント、場のマネジメント 3. 組織の活性化：革新的リーダーシップ 4. ソーシャル・イノベーション：個人と組織の役割		
科目内容・方法等	1. 「組織設計理論」に基づき、組織構造に関する基本原理、設計要素、環境要素をはじめ、多様かつ複雑な実際組織を理解・分析するための理論的枠組みを学び、効果的に機能できる組織設計について学習する。 2. 「知識創造理論」と「場の理論」に基づき、組織に新しい価値を創造するための思考フレームワークと行動モデルを学習する。 3. 組織活性化に成功した事例を分析して、リーダーの役割と求められる能力について考察する。 4. 社会の発展と革新のために果たすべき個人と組織の役割を、「知の創造」と「共通価値の創造」の観点に立って学習する。 <参考文献> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁 圏鎮『組織設計と個人行動』【増補版】文眞堂、2020年</li> <li>・野中郁次郎・遠山亮子・平田透著『流れを経営する』東洋経済新報社、2010年</li> <li>・野中郁次郎編『実践ソーシャル・イノベーション』千倉書房、2014年</li> <li>・伊丹敬之『場の論理とマネジメント』東洋経済新聞社、2005年</li> </ul>		
到達目標：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「組織設計理論」の学習を通して、効果的な組織構造を設計する。</li> <li>・「知識創造理論」及び「場の理論」の学習を通して、あらゆる組織における創造的リーダーの役割を果たすとともに、社会的共通価値を創造する。</li> </ul>		
評価方法及び評価基準：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の議論（50点）、レポート（50点）</li> <li>・80点以上：A、70～79点：B、60～69点：C、60点未満：F <ul style="list-style-type: none"> <li>A：授業内容を理解し、応用のみならず批判的な論点で発展させられる。</li> <li>B：授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できる。</li> <li>C：授業内容について、概ね理解している。</li> </ul> </li> </ul>		
授業の方法：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論を学び、内容について徹底的に議論する。</li> <li>・事例を分析して成功要因とその仕組みを学ぶ。</li> <li>・フィールドワークを行って課題を発見し、解決策を提示する。</li> </ul>		

